

## 令和3年度 南大沢スマートシティ協議会（第2回） 議事要旨

■日時：令和3年10月25日（月）11時00分～12時00分

■開催方式：リファレンス西新宿 兼 オンライン会議

■出席者：委員20名、事務局

### □決定事項

○協議会構成員として、独立行政法人都市再生機構と富士通 Japan 株式会社に参加する。

### □主な意見

#### <各部会の報告（課題・基本方針・施策等）について>

○令和5年度の社会実装に向けて、各施策の実現可能性を精査していく必要がある。

○スマートシティにより、まちがどうアップデートされるのか、将来像の議論が必要である。

○今後は将来を見据えて、各施策をどう組み合わせるかの検討が重要である。

○全体像として中長期のイメージを設定し、その期間中に実施することや実現したいことを定める必要がある。また、社会実装に向けた実施体制を今後議論する必要がある。

#### <実証実験・KPIについて>

○実験は周知が重要である。広報による認知度の拡大については今後活かすことができる。

○実験はターゲットに応じた周知の仕方が重要である。また、実験内容や実施手段について多様な組み合わせを新たに検討することが望ましい。

○実験で得られたデータは、可能であれば共有いただく。

○目標達成のためのアクション別の効果をモニタリングしていくことが必要となる。

○KPIは、本内容の項目で実験の評価を行う。

#### <その他>

○市もDX推進計画を検討しており、地域づくりとして連携できれば良い。